



R18

漫画:kyou-kiyo





本作品の特徴

- ・ 主人公が可哀想(;□;)
- ・ 綺麗ではない
それぞれの愛の形
- ・ エロシーン多め



ご注意

- ・ R-18
- ・ 暴力的な表現が多々あります
- ・ ハッピーエンドかはわかりません
- ・ 作中の吸血鬼の設定は
独自の設定です



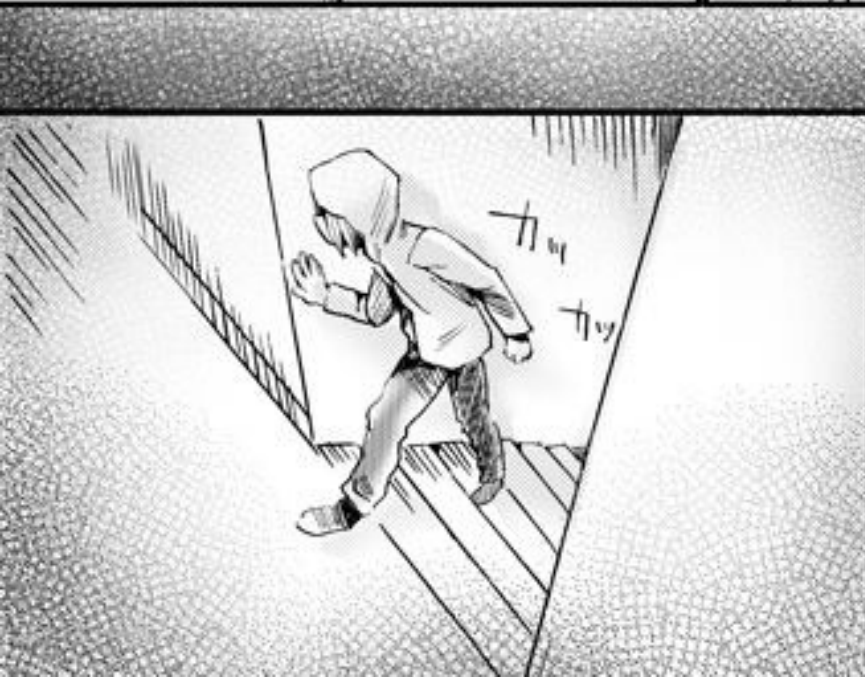
僕は
飢えているのかも
しれない

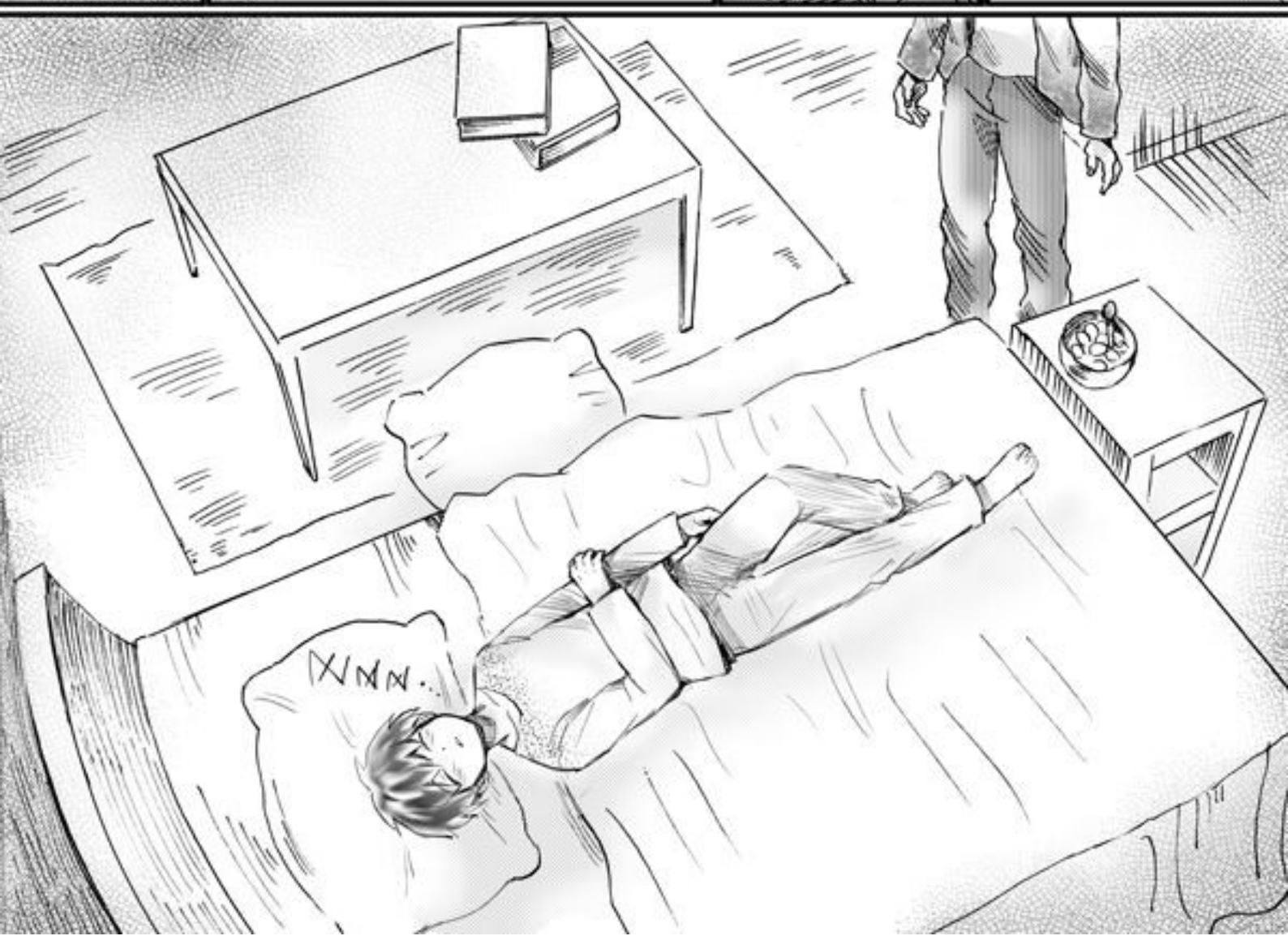


君と
同じ様に

血にじむ







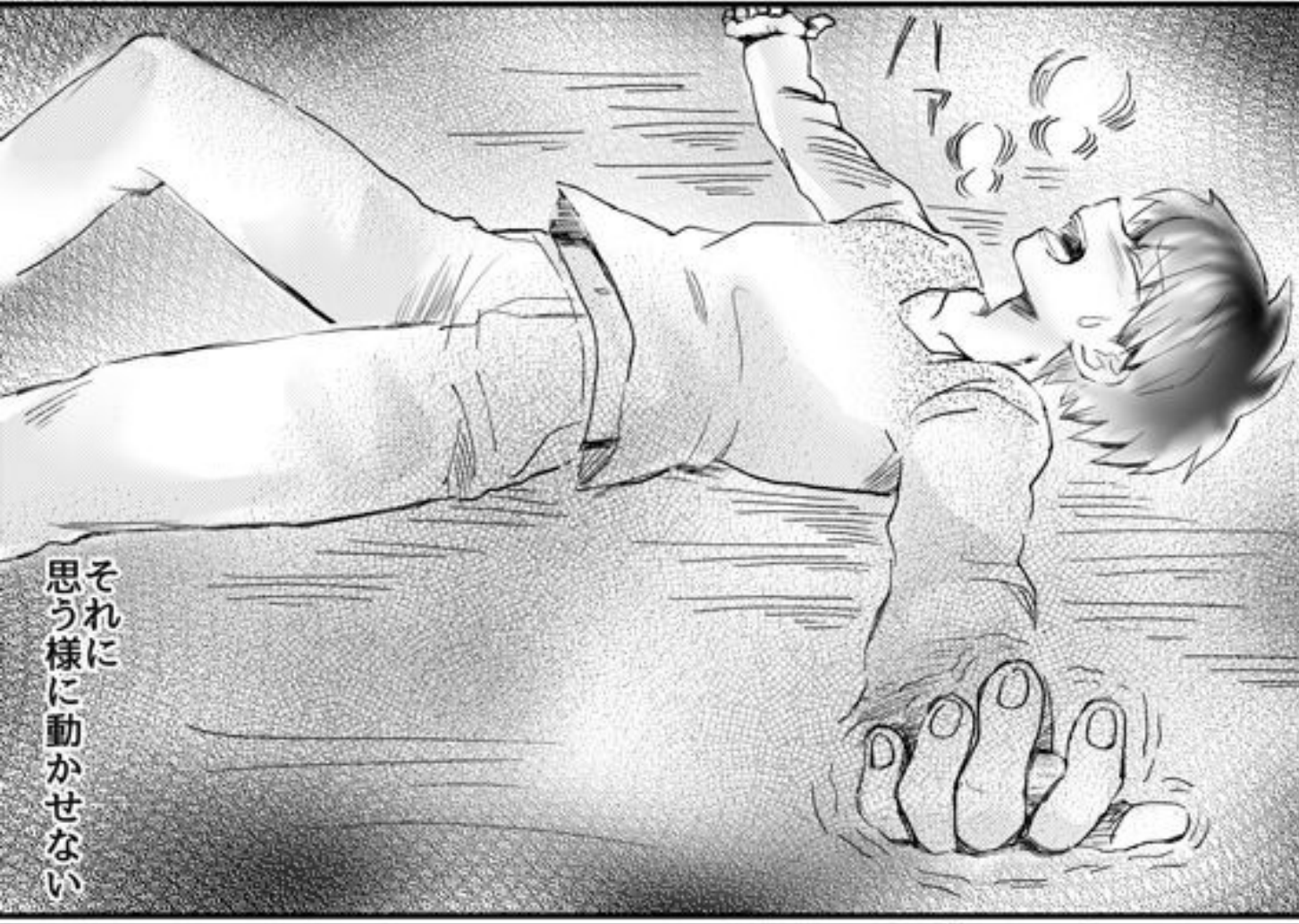




うっ

痛っ

え…
な、何が起きた？



身体のしびれがひどい…

それに
思う様に動かさせない



ひっ

もしかして殺人鬼？
僕今から殺されるの？



！



俺だよ

ヤギリだよ

アサ



やっ

やめっ…



そう

本当に君なの？

もしかして…



ヤギリ…？



ど、どうしたんだよ
首から血が…

それに顔色も悪いし
変だよ







な、何だこの感覚



何で
頭が

回らない



それに
脈打つ音がうるさい……

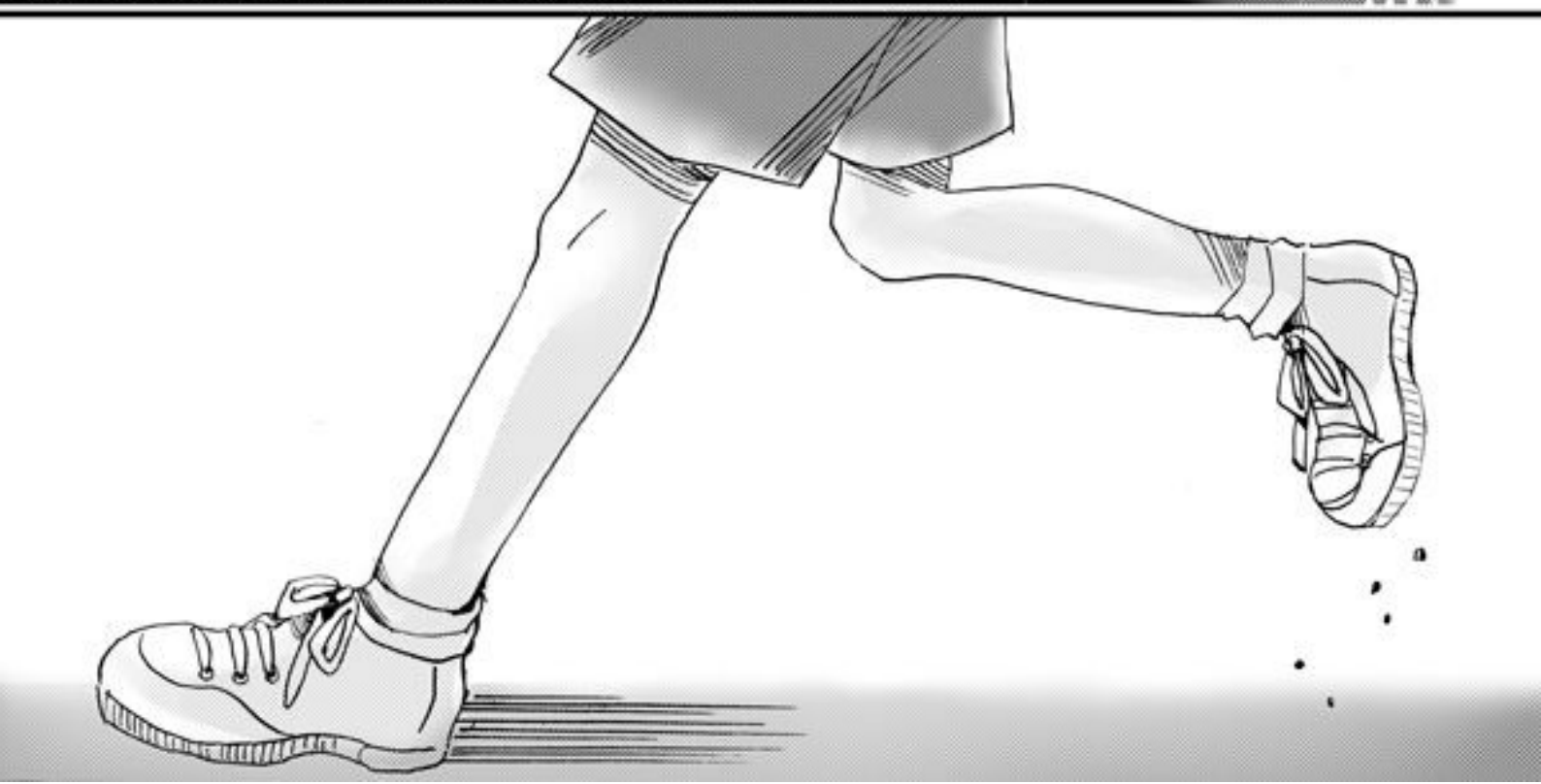
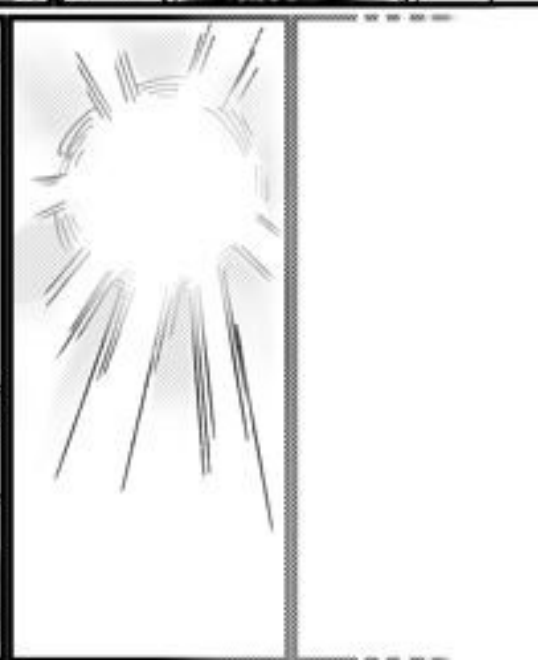


目の前がぐるぐるする



噛まれたせいかな……?

訳がわからない……







いつも
独りぼっちの
ヤギリは





…
…
なのに



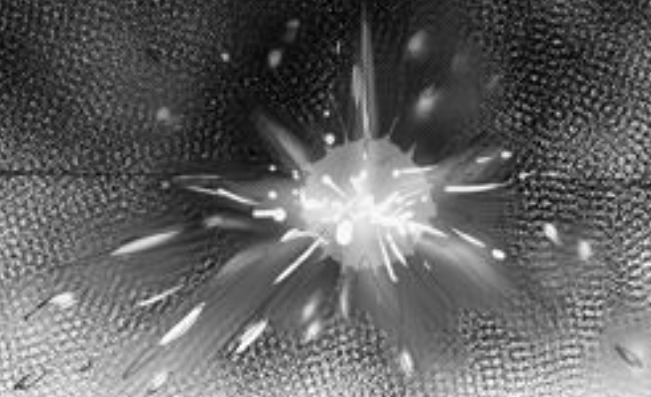
どうしちやったの
ヤギリ：？

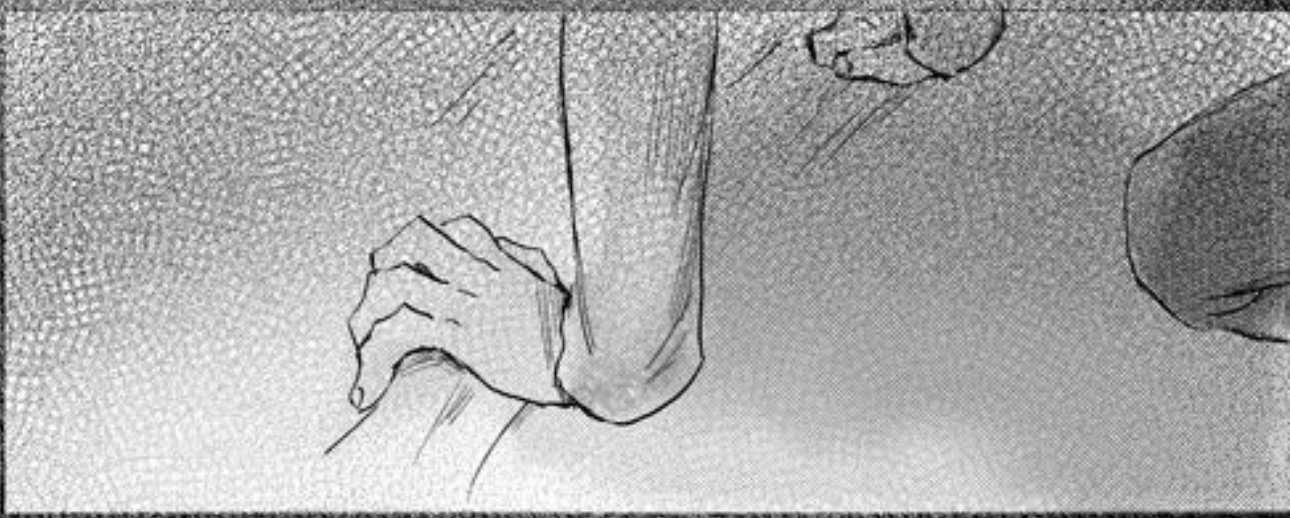
前と
変わっちゃっ
たの？



俺は

何も
変わってない





な、何…？

っ





自分の身体が
自分のものじゃないみたい



おっ
何だか



硬貨…?
これ…
銀じゃねえか…

すっ…

!!

おっ

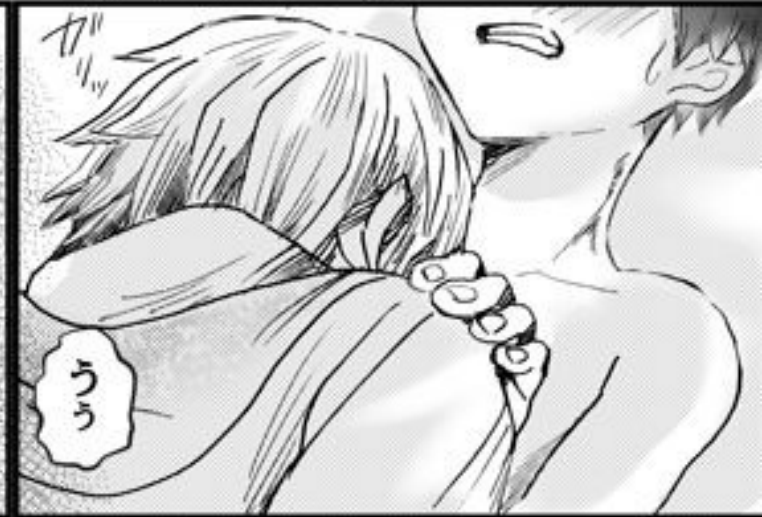
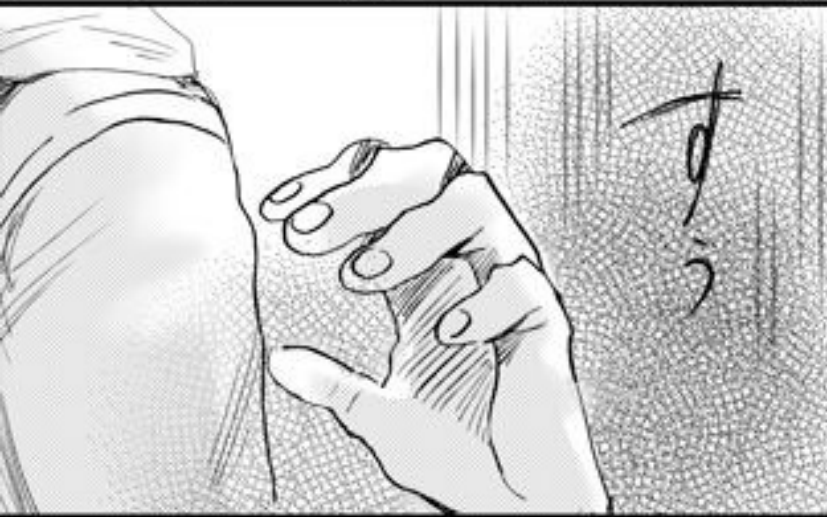


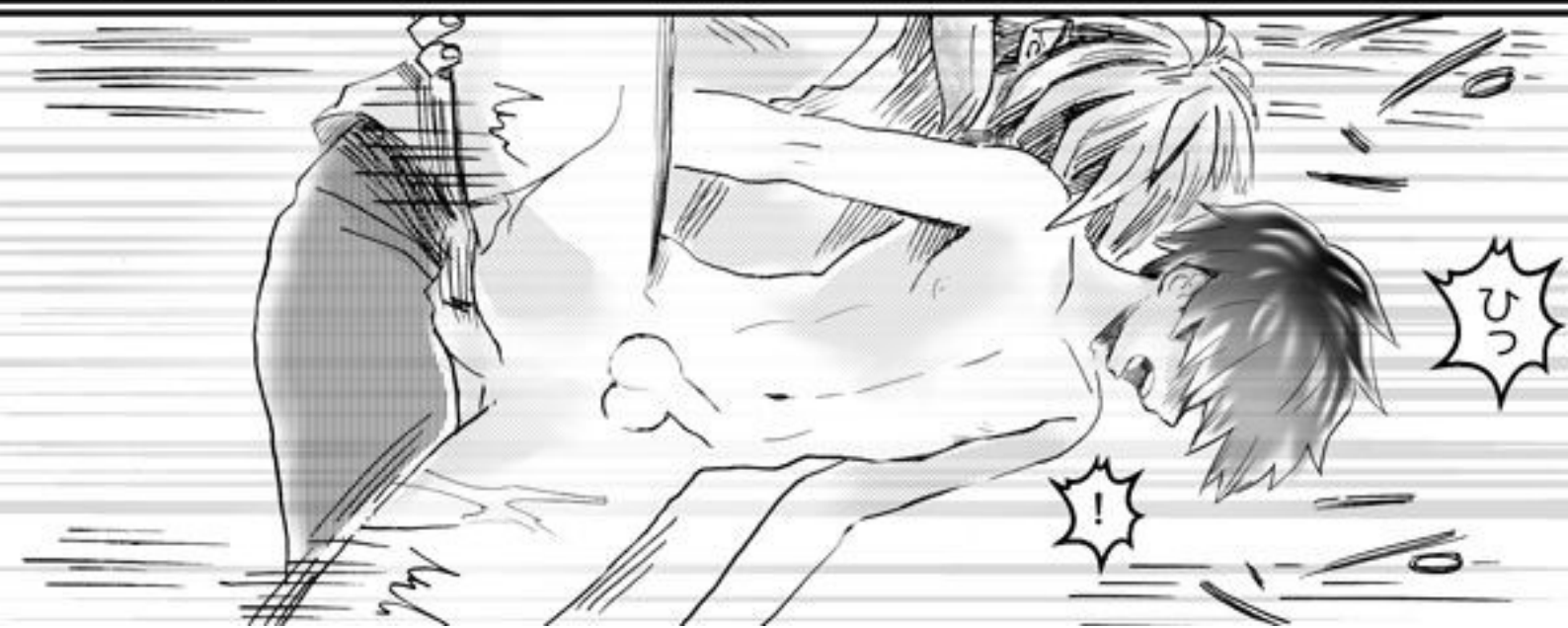
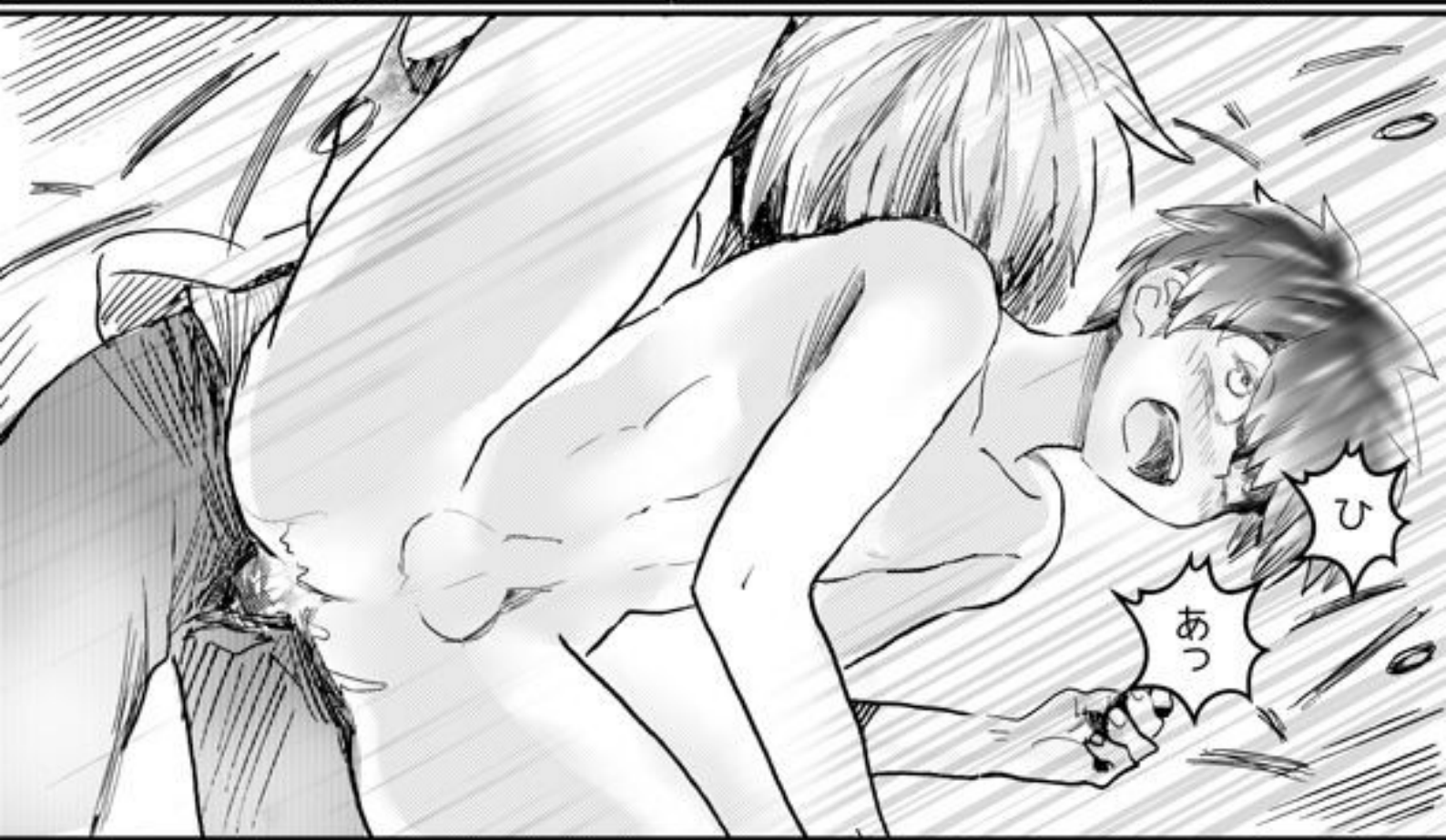
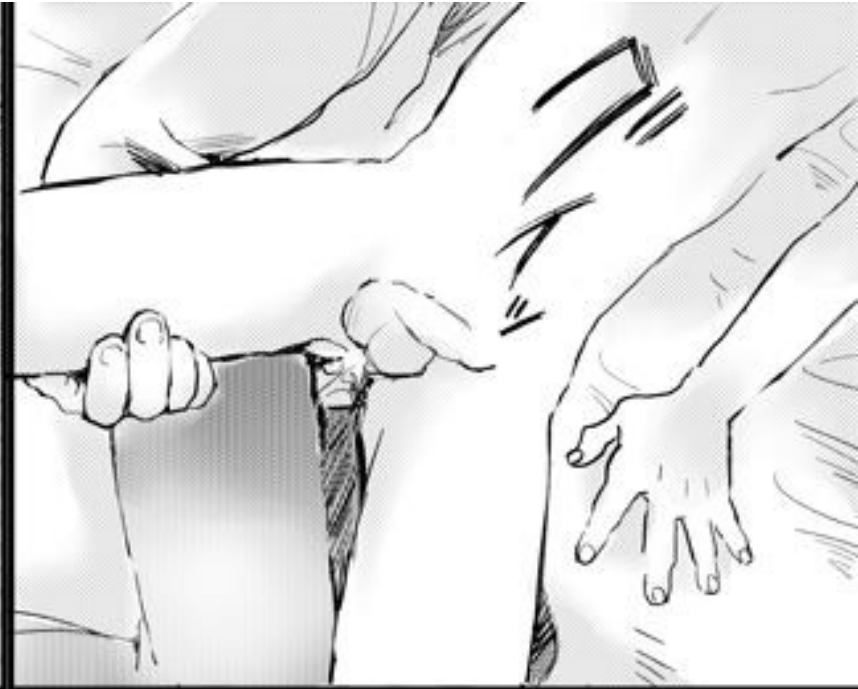
だから俺は

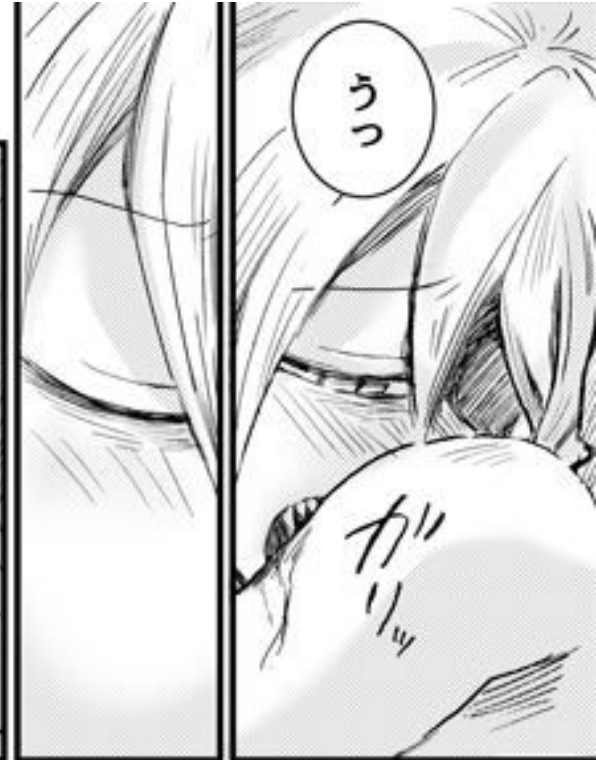
本能に
逆らえない

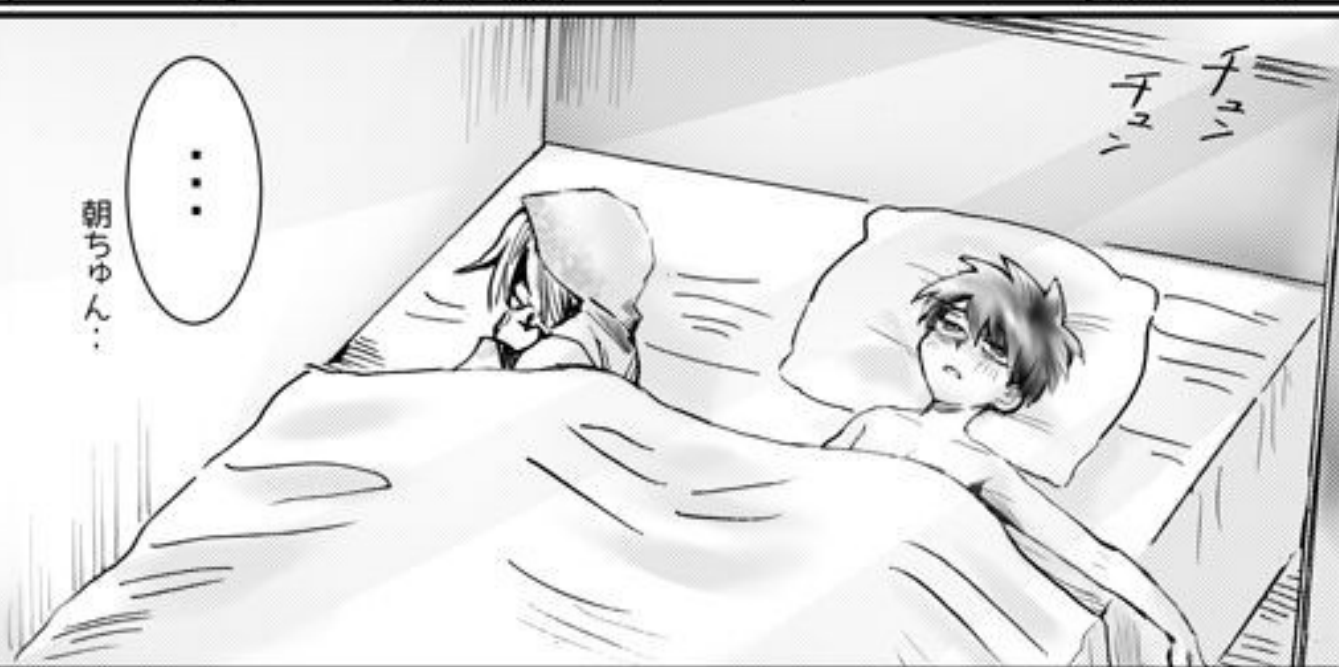
興奮を
抑えられないんだ

え？









朝ちゅん…

うづう

昨日の事で喉がガラガラだ
涙も沢山流した
みたいだし…

しかも
僕を泣かせた張本人は

満足気に眠っている

もう最悪だ

何だこの状況？

ああもう

身体がたるすぎるし
お尻もいたい！



普通なら
怒るぞこれ
……



うう

久しぶりに
会えたのに

あちこち
血は吸うし
それに：
アレ……するし……



吸血鬼
なの……？



ヤギリ……

大丈夫なのか
体温は冷たいし……
牙も生えてるし
君は本当に……



!!
だ、だとしたら
僕も

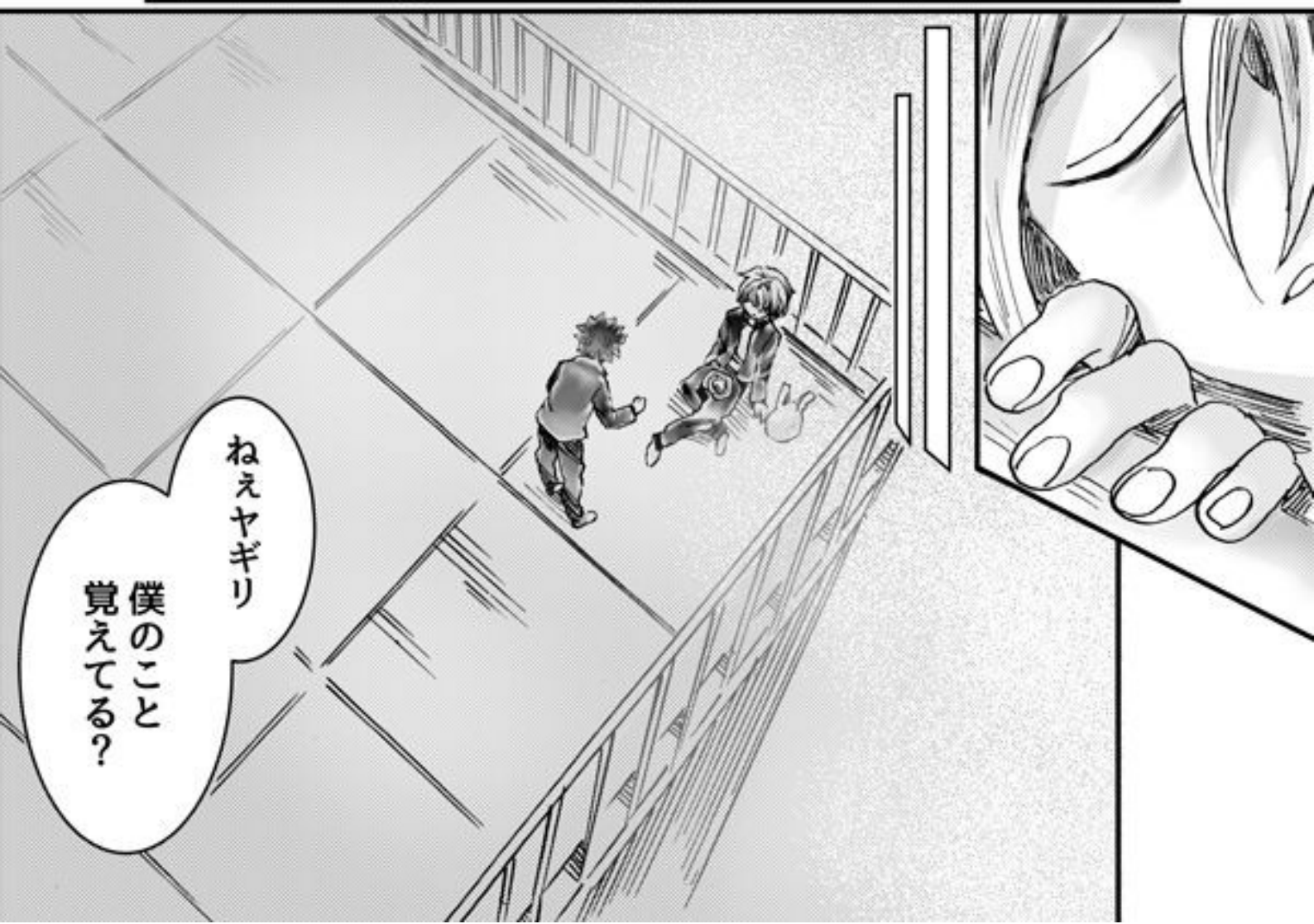
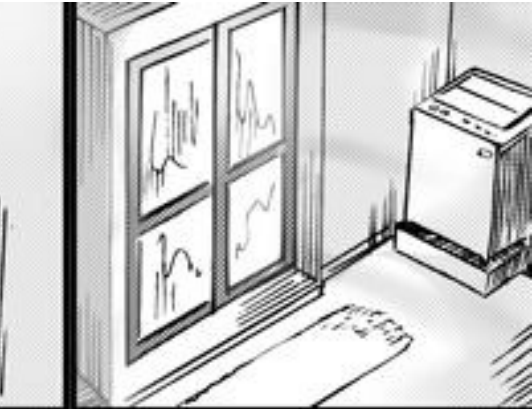




僕はバカ
なのかも：



こんな事があっても
僕は：



ねえヤギリ
僕のこと
覚えてる?



あ、
ありがとう

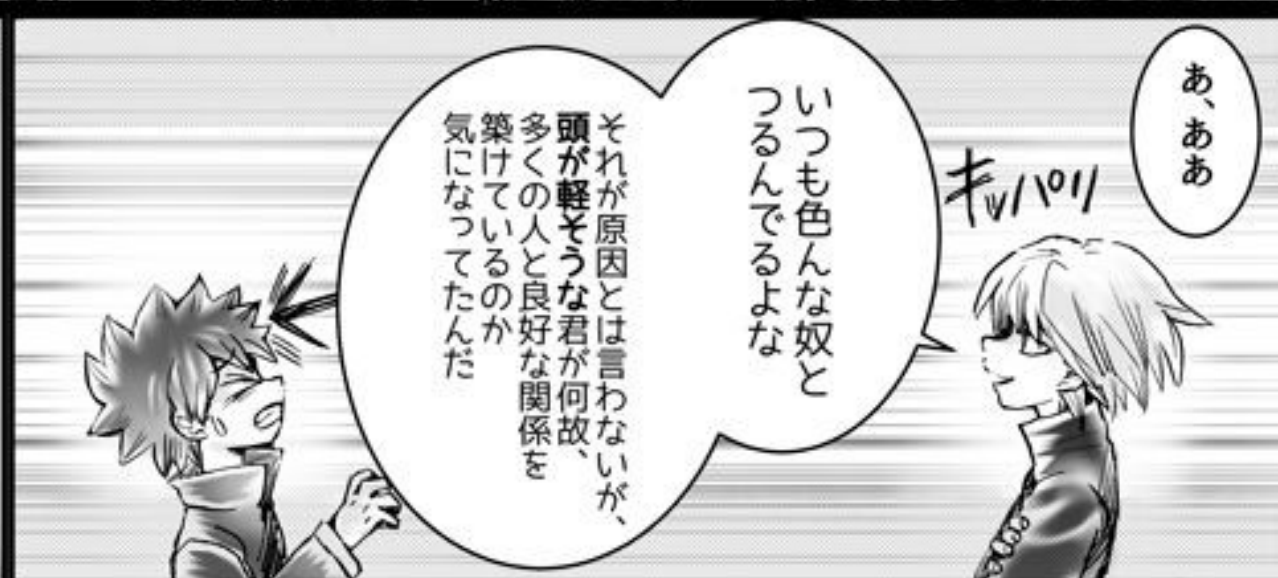
覚えてて
くれたの!?



あ、ああ
お前アキだろ



あ、頭…
軽い…



あ、ああ

キッハッ

いつも色んな奴と
つるんでるよな

それが原因とは言わないが、
頭が軽そうな君が何故、
多くの人と良好な関係を
築けているのか
気になってたんだ



その内僕は

実はただ
グループの中に
埋もれてる状態で…



そう見える
だけだよ



ほ
…
本当はね

数の力っていうか
沢山の人のいる事で
自分の弱さを隠してる
気がして…

だからその…僕…
ヤギリ君に

憧れてるんだ

は？
何でだよ？

君は
強くて
格好いい

お、俺が…？

うん
覚えてるかな？
あの体育の時
皆自分の事で精一杯だった
のに

君はそれでも
僕の手をひいてくれた

僕はすごく嬉し
かったんだ

ヤギリ君は僕の事
グループの一部じゃなくて
一人として見てくれるから



だから僕
その…

もう一度
あの時みたいに

ヤギリ君と
手を繋ぎたくって



え

え

えっ

はっ



あ

ごめん

あなた
ふた

今のなかつた
事にして!



いいよ

何度だって
手繋いでやる

キッ



キッ



キッ



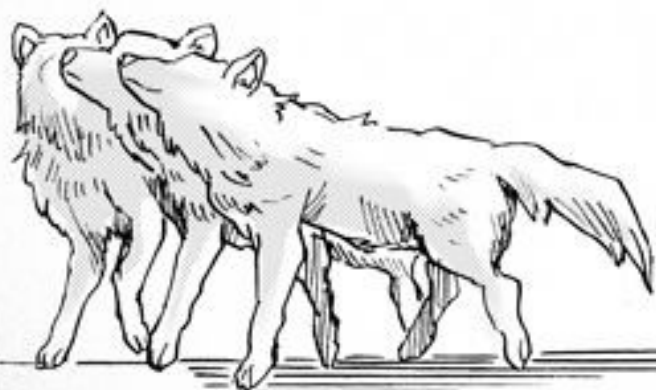
始めは

彼が誰か
気づか
なかつたか



ただ見る限り
彼は俺にとって

全く異なる世界の
人物だと思っていた



その彼が
何故

俺に視線を向けるのか
不思議に思った




そして
あの時手を繋いだ
子だと気付いて




徐々にあいつが他の奴に
向ける視線が
気に食わなくなった






それから
あの視線を
感じる度に

俺は




お前が
群れからはぐれるのを
待っていたんだと
思う



あのは
何事もなかった
様に俺たちの
関係は続いた

というか…

何も
出来なかった



そして
ずっと忘れられずにいた

あの時

手を繋いだ感触を



抱きしめた時の匂いを

それから
数年後……

俺たちは
別々の場所へ
引っ越した







どうも

昨日、ヤギリの主人に
なったロクだ

人間を吸血しに来た



今日からこの町は
失踪者で溢れるだろうから

あははは
楽しみだ

ふっ

だっ
誰か





—昨夜の事—

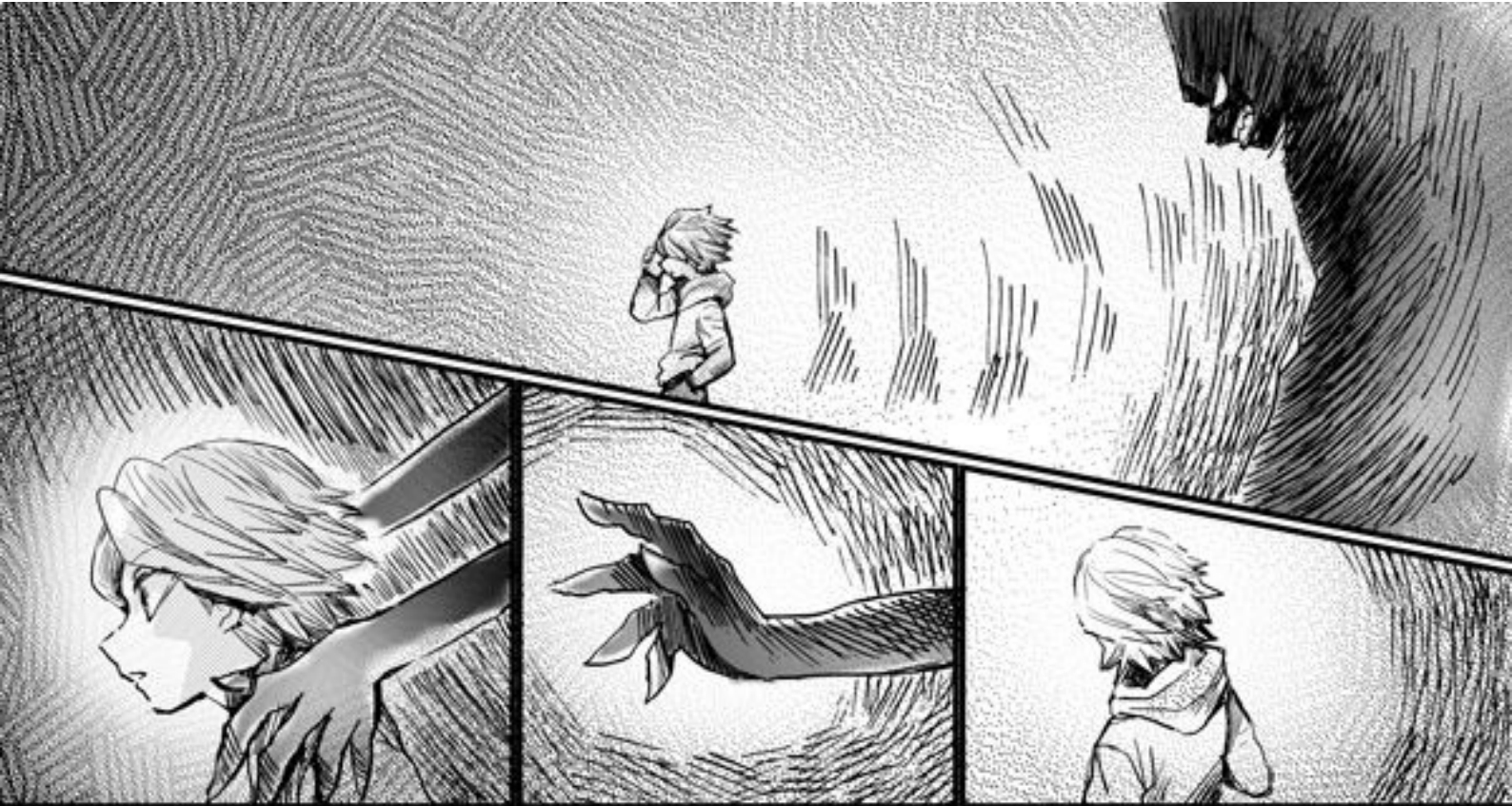
そう、
そっち来たから
明日会おうぜ

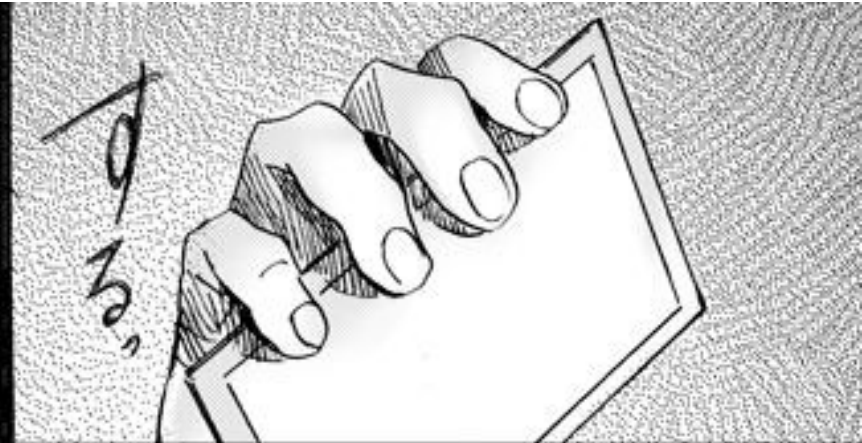
おう

そう
明日

そう







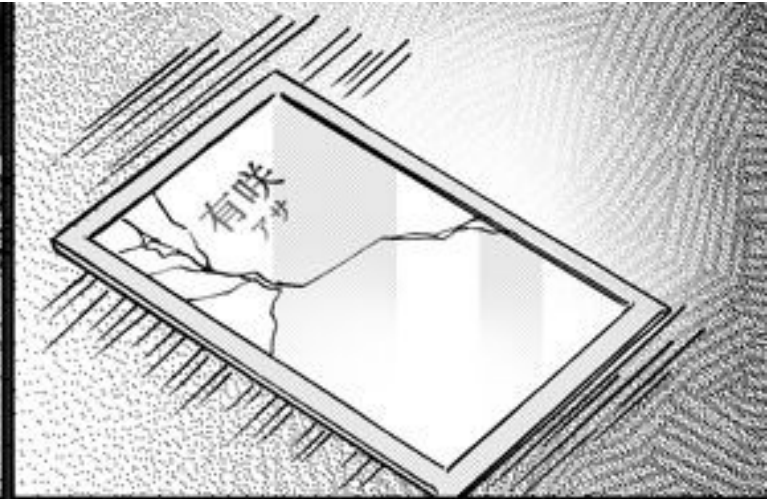
お前は
この町の
犠牲者
第一号だ

はは



お前の
主人に
なつて
やろう

特別に

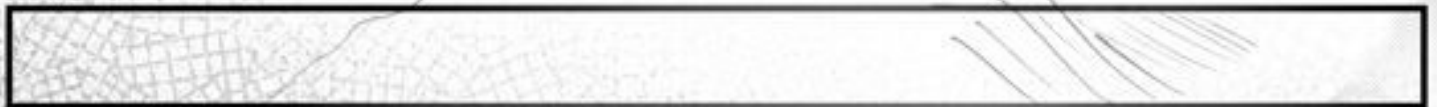


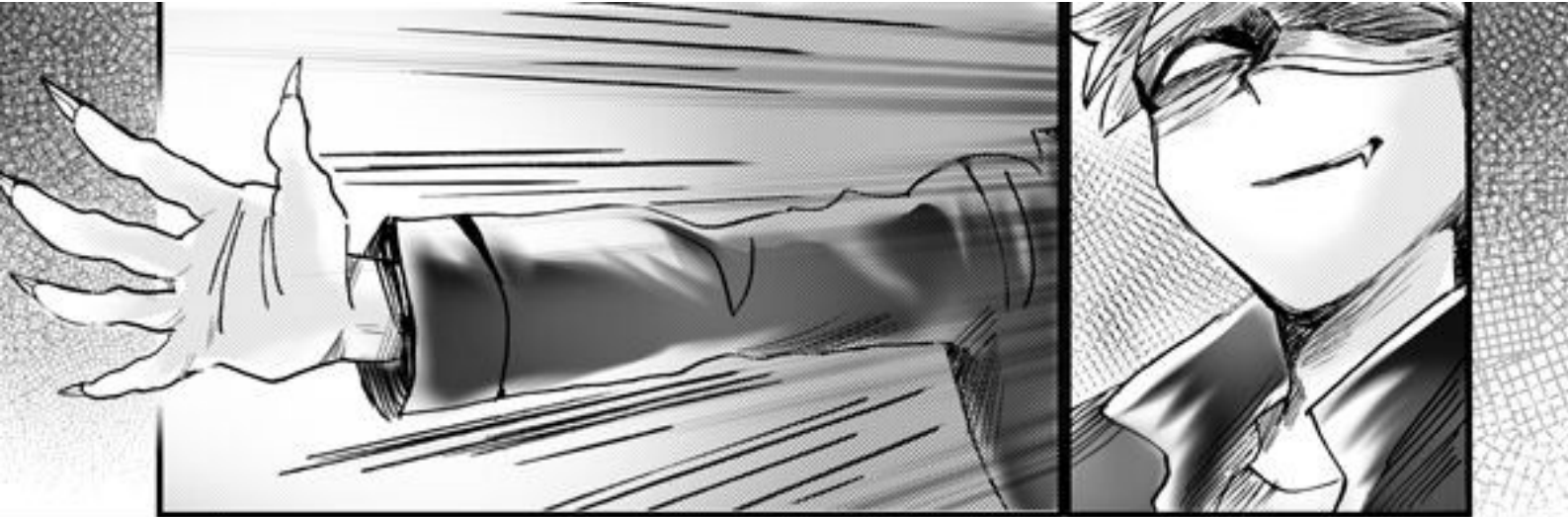


あれ…

アサ
俺はどうしたんだ…？

すう…







はあ
どうしようか
喉が渴いた

うーん
ゆつくり時間
をかけてバラバラに
すつか

い、嫌だ

そ、
そんな



僕はまだ
ヤギリと
いたいんだ

僕は…

だ、だから



お、お願いです

何でもします

ヤギリの傍に
いさせてください



すは、
命乞いかあ
情けねえ

ち、
違います

てっ

提案が
あるんです！



もし僕を
殺さずに
いてくれたら

喉が乾けばすぐ
僕の血をあげます

そうすれば
継続的な喉の渇きに
苦しむ事もないし

だ、だから
お願いです



ぷ

はは

笑わせんなよ
人間は腐る程
いるだろうが
ゴミに等しい

俺はそのゴミを
処理しているに
過ぎない

お前はその一部だ
どこに傍に置く価値が
あるんだよ!

そんな
そんな:



そ、そんな事ない
ヤギリは僕を見てくれた

お前みたいにな奴に
僕の事決めつけられて
たまるか!



何だと

耳障りな事
ぬかすな

バラバラに
するぞ

















お前は
少し

暇つぶしに
なりそうだ

だから

さっきの提案
飲んでやるよ



分かるか

これから
お前を
生かす
代わりに

毎日俺のエサに
なるって事

死ぬまで
ずっと

?!

痛っ

お前が
望んだ事なのにな?

やめろ?

やっ
やめ

ひっ

また
動けないのか…

思い知らされる

爪も鋭い牙もない
僕はなんて
非力なんだ

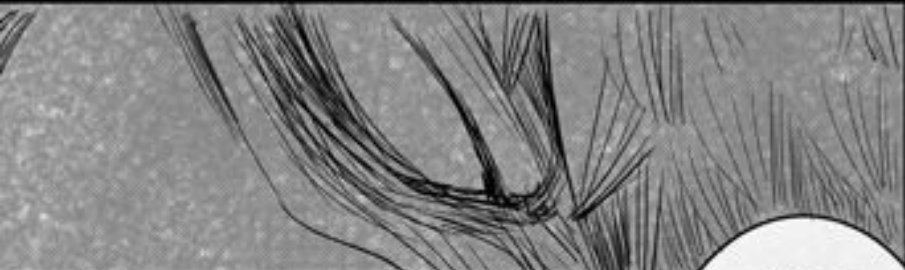


ただ
僕は
ヤギリ
と…





ど、
どうして……？



何が？
普通の事だろ？

欲：

本能：

快樂だ

ケホ

ケホ



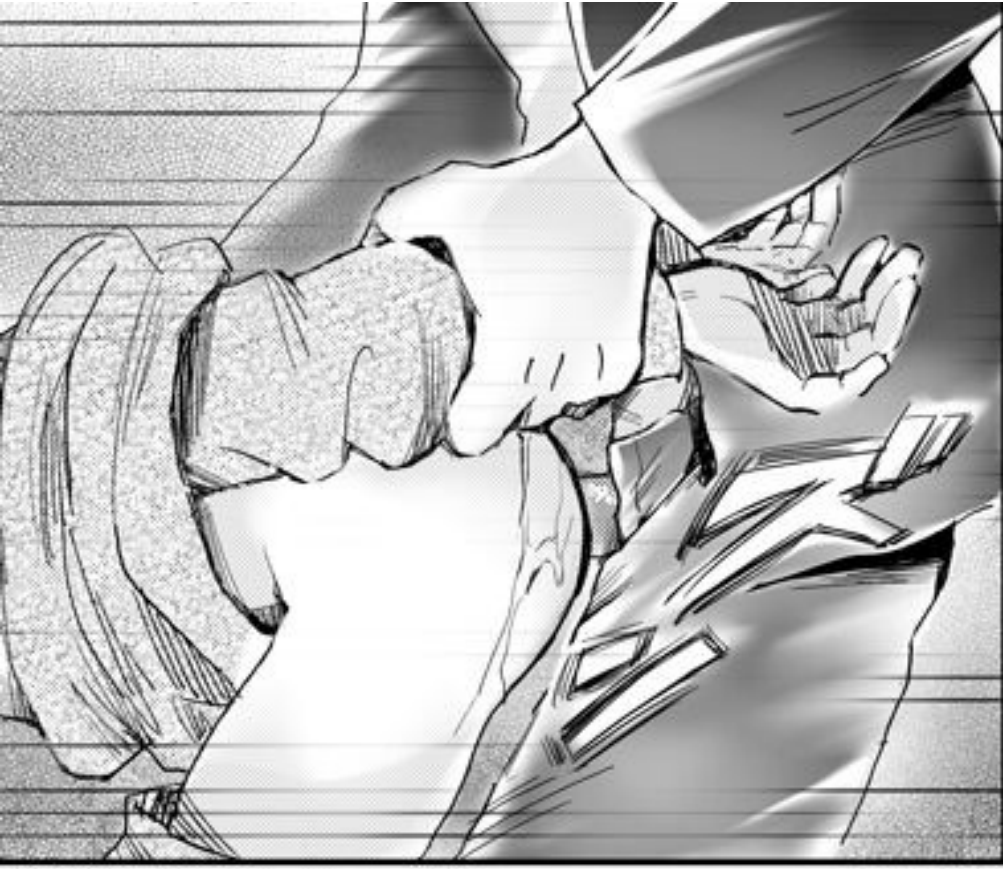


ごめんな
アサ



俺は

主人に
逆らえないんだ









逃げようとしたのか



もしかしてお前



いい度胸じゃねえか



はは







ヤギリ

お前
起きてるだろ？

これから
こいつを

二人で

共有しようぜ





どんな時だろうと
朝はやってくる







だから
きつとまた何度も

俺は…



血が欲しいんだ

人間の
…

いや
アサの




アサを求めてしまう

ごめん




ほんと
こんな事に

巻き込んで
ごめん




昨日は
国を離れる
つもりで

お前と話が
したかったんだ




なのに
……



あれからは
血の匂いが
脳にこびりついて

喉が渴いて
しょうがない



ごめん
……
こんなつもりじゃ



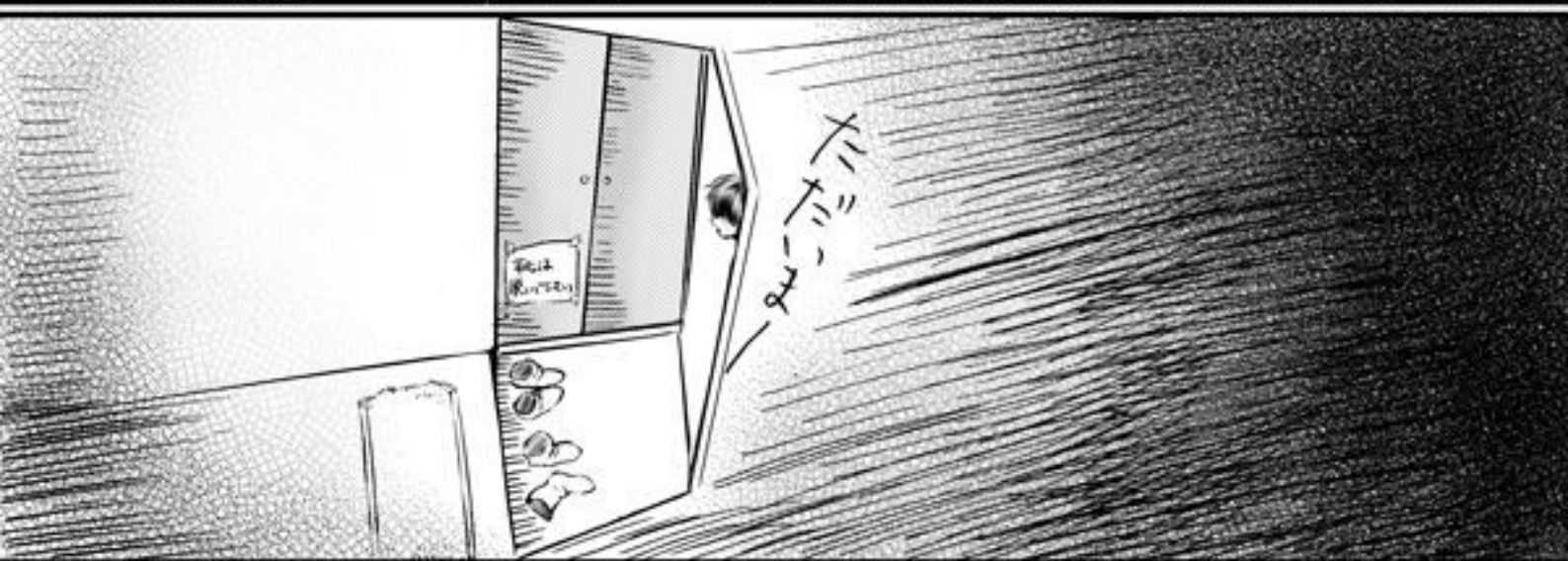
ううん
謝らないで…

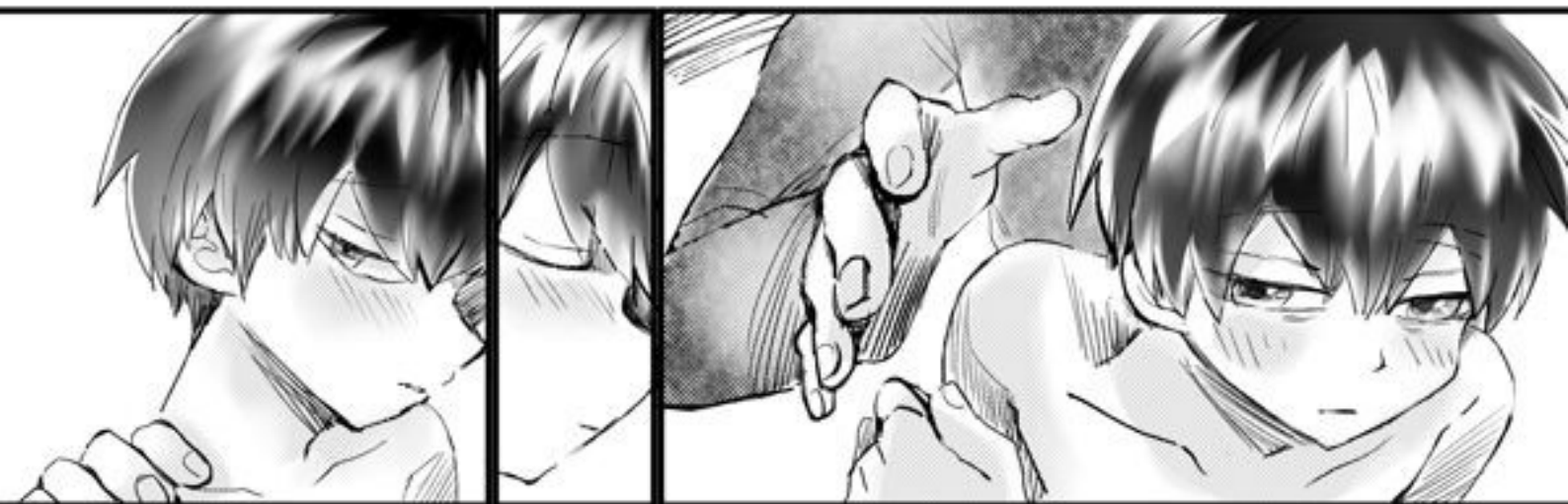


僕を
見てください
…

ありがとう











ヤギリ

んっ



っ

?



愛は恋は
正気を奪う

何て
恐ろしいんだろう

愛に飢えた僕は



この状況に
僅かながらにも
満足しているなんて

なんて…

